経営課題3 【誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち】

阿倍野区に暮らす、すべての人々が住みなれた地域で、人として尊重され、お互いが支えあい、自分らしくいつまでも安心して幸せに暮らせるまちをめざします。

【主なSDGsゴール】

めざす成果及び戦略 3－1 【みんなで支えあう地域づくりと支援体制の充実】

【めざす状態】

地域住民が主体となって、地域ごとの特色を活かした地域福祉活動が進んでいると感じる状態

【中期的な取組の方向性】

誰もが幸せに暮らせるまちをめざして、地域にかかわるすべての人や団体等が連携、協働して、環境の変化に応じた地域福祉活動に取り組むとともに、地域の包括的な支援体制の充実に努めます。

【アウトカム指標】

地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じる区民の割合：6年度までに40%以上

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
35.7%	－	43.2%	○	41.0%	○

○：目標達成　－：目標未達成

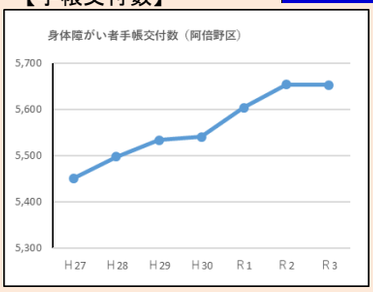
【現状】

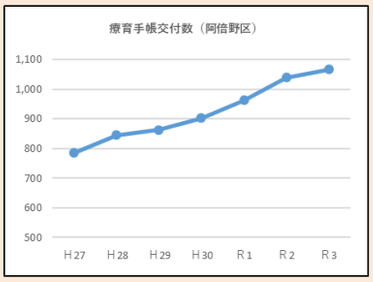
・高齢者人口、単身高齢者世帯、要介護認定者や各種手帳所持者等の要援護者は増加しており、また、高齢者の相談件数が増加するなど、要援護者に対する支援が重要ですが、現状の公的サービスや既存のしくみだけでは多種多様なニーズを持つ一人ひとりの生活を支えることは困難な状況にあります。
・地域住民が互いに見守り、支えあうことが必要ですが、少子高齢化の進展や都市化、核家族化など世帯構造の変化により、地域のつながりが希薄化しています。
・区民の福祉的ニーズが年々増加し、「複雑化・多様化・深刻化」するなか、複合的な課題を抱えた要援護者など、既存の縦割りの仕組みでは解決できない問題が生じています。

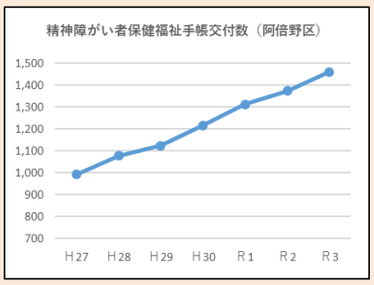
阿倍野区人口（令和2年度国勢調査）

	人口	子ども（15歳未満）		高齢者（65歳以上）		高齢者（75歳以上）	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
阿倍野区	110,995	14,056	12.7%	27,619	24.9%	14,944	13.5%
大阪市	2,752,412	290,649	10.6%	676,821	24.6%	358,578	13.0%

【手帳交付数】







・令和4年度区民モニターアンケートでは、58%の区民が「地域福祉活動に参加したい」と回答しています。参加したい地域福祉活動は、多い順に、「こども・子育てを支援する活動」、「地域住民の交流を支援する活動」、「地域防災に関する活動」、「防犯に関する活動」などでした。

【課題】

・区内各地域で異なる福祉課題を把握し、それぞれのニーズに合った公的サービスに迅速につなげ、誰もが幸せに暮らせるように地域でお互いが支えあう福祉コミュニティを醸成する必要があります。
・各地域における要援護者や複合的な課題を抱える世帯の増加が見込まれる中、身近な地域での支援体制を強化する必要があります。
・新型コロナウイルス感染症など環境の変化に応じた地域福祉活動のあり方が求められています。

具体的取組３－１－１　【みんなで支えあう地域づくり】

認知症への理解を深める

個別訪問

〈参考〉区政会議等意見
・当事者の声を聞き、ニーズを把握して、ボランティア活動の援助をしながらモデル的な活動ができればよい。
・区民が「気にかける」意識を高め、行動につなげるため、地域の問題を自分の問題と感じ、つながりを実感できるような身近なテーマで、小さな集まりや活動を企画できるとよい。

具体的取組

概要	3決算額	15,971,000 円	4予算額	16,385,000 円	5予算額	16,803,000 円

・要援護者の実態把握から地域の福祉課題やニーズの把握を行い、地域自らが見守り体制等を構築し、新たなネットワークづくりができるよう支援します。
・当事者参画の機会を通じて、障がいや認知症に対する理解を促し、地域での見守り活動等の広がりを支援します。
・区社会福祉協議会と連携し、新たな地域福祉活動の担い手や取組みを支援します。

主な取組	5年度実績	4年度実績
見守り訪問等のボランティア活動：延べ25,000回以上	72,950回	70.964回
認知症高齢者見守りネットワーク事業：協力事業者 350者以上	438者	358者
あべのオレンジメール（個人情報なし）：協力者（個人） 70者以上	62者	63者
あべのあんしんステーション：協力事業者120施設以上	130者	121者
認知症サポーターに向けた研修・講演会等（当事者参画を含む）の実施：3回以上	6回	－

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
要援護者本人やその家族等に対するアンケートにおいて「地域などの見守りにより、日常や災害時に備え、安全・安心を感じるようになった」と答えた方の割合：50%以上（令和5年度～）					88.4%	○

○：目標達成　－：目標未達成

具体的取組３－１－２　【受けとめる相談支援体制の充実】

つながる場

つながる場

〈参考〉区政会議等意見
・地域の生活と支援の現状と課題について、専門職員、地域福祉活動の立場で感じている問題点について、報告・議論する機会を増やすとよい。

具体的取組

概要	3決算額	131,000 円	4予算額	148,000 円	5予算額	148,000 円

・複合的な課題を抱えた要援護者などに対応するために、地域と専門職、専門職間のネットワークづくりを進め、相談支援機関・地域・行政が一体となった、総合的な相談支援体制の充実を図ります。

主な取組	5年度実績	4年度実績
総合的な支援調整の場（つながる場）の開催：通年	2回	7回
要援護者の個別支援のための連絡調整：随時	随時	随時
見守り体制の構築に向けた専門職の連携：随時	随時	随時

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
つながる場の参加者アンケートを実施し「関係機関と情報共有を行なったことで、今後の支援方針を策定することに役だった」と感じた割合：80%以上（令和5年度～）					78.5%	ー

○：目標達成　－：目標未達成

具体的取組３－１－３	【地域福祉計画の推進】

つながりフェスタ2022

ふれあい喫茶

〈参考〉区政会議等意見
・新型コロナウィルス感染症の影響が続いているが、その中で経験してきたこと、地域のつながりの回復と新しいつながりの工夫、経済的困難や就労の問題など、どのように地域福祉計画に反映するか、今後検討を進める必要を感じる。

具体的取組

概要	3決算額	132,000 円	4予算額	198,000 円	5予算額	140,000 円

・令和3年3月末に策定した「阿倍野区地域福祉計画」の意義や取組み等を地域へ浸透させ、「地域福祉」の推進に向けた体制づくりを支援します。
・地域福祉活動（地域防災に関する活動、児童の登下校時の見守り活動、ふれあい喫茶などのサロン活動、高齢者食事サービス、子育てサロン、こども食堂など）への参加者を増やします。

主な取組	5年度実績	4年度実績
地域福祉推進会議における、地域福祉計画の進捗に関する情報交換、課題集約：1回以上	2回	1回
地域福祉イベント等における広報活動：2回以上	2回	2回

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
地域福祉活動に参加したことのある区民の割合：40%以上	20.8%	―	24.0%	―	22.3%	―

○：目標達成　―：目標未達成

戦略３－１の自己評価	改善策
課題 誰もが幸せに暮らせるように地域でお互いが支えあうコミュニティの醸成に向けて、区内各地域で異なる福祉課題を把握し、それぞれのニーズに合った公的サービスに迅速につなげていく必要があります。 各地域における要援護者や複合的な課題を抱える世帯が増加する中、身近な地域での支援体制を強化する必要があります。	・各地域のコーディネーターを中心として地域の要援護者の把握や、見守りボランティア活動を継続して取り組むことにより、それぞれの地域で世代を超えて相互に支えあう体制の充実を図ります。 ・8050問題など総合的な相談支援調整の場（つながる場）へのニーズは高まっており、引き続き区役所内で連携を図るとともに地域とのネットワークづくりを進めます。

めざす成果及び戦略　３－２【地域ぐるみで、いつまでも元気に暮らせる健康づくり】

【めざす状態】

区民が健康づくりに取り組めている状態

【中期的な取組の方向性】

区民一人ひとりの健康意識を高め、「新しい生活様式」を取り入れるなど感染症予防に配慮した方法で、主体的に健康づくりに取り組めるよう支援します。
また、「あべのウォーク」「いきいき百歳体操」の新規参加者の開拓に向け、広報紙・ホームページ・SNSなどの活用により工夫した発信に努めます。

【アウトカム指標】

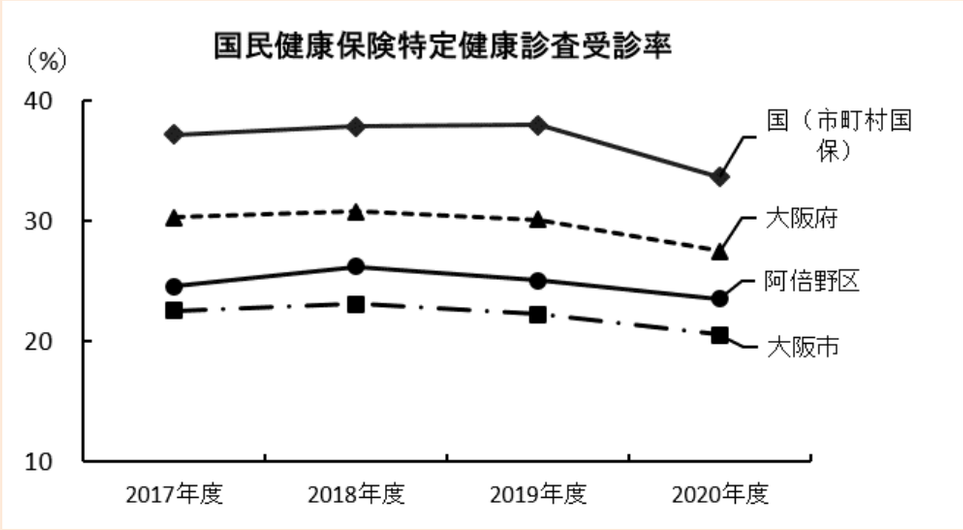
運動習慣（週2日以上）がある35歳以上の区民の割合：6年度までに40%以上

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
39.9%	－	40.9%	○	38.8%	－

○：目標達成　－：目標未達成

【現状】

・健康寿命を延伸するためには、生活習慣病の改善・早期発見、早期治療が重要です。
・特定健診受診率が府や国より低く、特定保健指導終了者の割合は国より低い傾向にあります。
・脂質異常症が高く、内臓脂肪症候群予備軍者の割合が本市平均より高い傾向にあります。
・全国に比し、健康寿命は長い傾向にありますが、不健康な期間も長い傾向にあります。
・新型コロナウイルス感染症による影響により健康づくりの取組が進んでいない状況にあります。



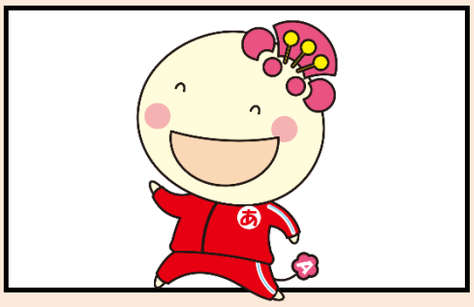
【課題】

・特定健診の受診率を高め、早期発見、早期治療につなげる必要があります。
・区民に対して健康増進や生活習慣病予防、疾病に関する正しい知識の普及・啓発を行うとともに健康づくりの一環である運動「あべのウォーク」や介護予防を目的とした「いきいき百歳体操」、食生活の改善を目的とした「食育講座」等を推奨することで健康づくりの機運を高める必要があります。
・適切な感染症予防を徹底しながら「新しい生活様式」を取り入れた健康づくりの取組を日常化していく必要があります。また、高齢者については、外出する機会が減り、運動不足などによる体力低下・認知機能低下等の課題があります。

具体的取組３－２－１　【区民との協働による健康づくりの推進】

あべのウォークの様子

あべのウォークの様子



具体的取組

概要	3決算額	147,000 円	4予算額	174,000 円	5予算額	158,000 円

・区民が主体的に健康づくりに取り組めるよう支援するとともに、広報紙・SNSなどを活用した情報発信を行います。

主な取組	5年度実績	4年度実績
ウォーキング大会：年3回	3回	2回
あべのちょこっとウォーク（各老人クラブ連合会との協働）：年7回	6回	7回
ウォーキングサポータースキルアップ講座：年2回	2回	2回
広報紙・ホームページへの掲載各種：随時	随時	14回
各種健康講座での周知：随時	随時	31回

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
ウォーキング大会参加者のうちウォーキング大会が運動の習慣化につながると答えた方の割合70%以上	未測定	ー	91.0%	ー	86.8%	○

○：目標達成　ー：目標未達成

具体的取組３－２－２　【地域に密着した食育の推進】

離乳食講習会での展示

調理実習の様子

具体的取組

概要	3決算額	16,000 円	4予算額	91,000 円	5予算額	99,000 円

・地域に密着した継続的な食育を推進するため阿倍野区食育推進ネットワークを強化します。また、正しい知識と健全な食生活の普及を通し、子どもの養育者の食に対する不安や悩みを解消し、さらに子どもの頃から健全な食生活を実践できるよう情報発信を行います。

主な取組	5年度実績	4年度実績
阿倍野区食育推進ネットワーク連絡会の開催：年2回	2回	2回
子どもの養育者に対する食育ミニセミナー：年1回	1回	0回
離乳食講習会：月1回	12回	13回
乳幼児健診時の栄養相談：月3回	41回	37回
子育て支援施設等での講話・調理実習：年10回程度	13回	7回

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
食育推進ネットワーク関係機関のうち、連絡会や担当者研修会の取組み内容に満足している団体の割合50%以上（令和5年度～）					100%	○

○：目標達成　ー：目標未達成

戦略３－２の自己評価	改善策
課題 健康増進や生活習慣病予防、疾病に関する意識啓発を行うとともに、健康づくりの機運をこれまで以上に高める必要があります。	区民一人ひとりの健康意識を高め、主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりの一環である運動「あべのウォーク」や介護予防を目的とした「いきいき百歳体操」等を積極的に周知します。